

土地改良事業設計指針 「ため池整備」 試験項目及び試験値 (ロックレイ試験値比較)

P18より 試験項目	P124より 試験規格	P124より 実施項目	P153より 試験頻度		P18より 目安 参考値	P18より ロックレイの試験値
			遮水ゾーン	ランダム		
土粒子の密度	JIS A 1202	○	A	A	2.6以上	2.77
粒度試験	JIS A 1204	○			(75μm以下) 50%以上	50%以上あり
含水比試験	JIS A 1203	○			60% ~ 70% ?	最適含水比 = 17.29%
液性限界・塑性限界試験 (塑性指数が15以下の材料ではクラックが発生しやすいと言われている)	JIS A 1205	○				液性限界 = 27.75 塑性限界試験 = 16.77 塑性指数 = 10.97
現場密度の測定	JIS A 1214	—	B	B		D値 95%以上
現場透水試験	JGS 1316	—	B	—	$k = 1 \sim 5 \times 10^{-5}$	5.1×10^{-7}
突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210	○	A	A		
透水試験	JIS A 1218 他	○			$5 \times 10^{-5} \text{ cm/s}$ (設計値以下)	透水係数 = $1.3 \times 10^{-7} \text{ cm/sec}$
一軸圧縮試験	JIS A 1216	△				159 kN/m^2
三軸圧縮試験	JGS 0524 他	○				
圧密試験	JIS A 1217	△				
単調載荷実験	JGS 0523	△				
液状化試験	JGS 0541	△				
繰返し三軸試験	JGS 0542	△				

○は必ず実施、 △は必要に応じて実施

頻度A : 工事手前に1回及び盛土材料の変わった時

頻度B : 盛土高さがおおむね60cmに達するごとにおおむね50m~100m間隔に1回